

ラウンドテーブル

宗教・食・移民

—トランスローカルな宗教実践の学際的考察—

生活と密着した「生きた宗教」の実践を知る手がかりとして、マイグレーション研究会の共同研究「移民の衣食住」で研究成果* を発表された研究者のお二人と、シク教ディアスポラの研究者をお招きして、「食」と「移民」の観点から、宗教——シク教、仏教、イスラーム——を取り上げる。

近代以降、グローバル化によって人とモノの国際移動が活発化し、これらの宗教的伝統に生きる人々のうち、異文化の地に移住した移民／難民は、様々な工夫を凝らして宗教的な実践を続けている。新たな生活圏で宗教的伝統に沿った食材を調達し、料理し、食べる——こうした日常における多彩な事例を、文化人類学、文学、地域研究をそれぞれ専門とする研究者にご報告いただき、学際的な考察によって理解を深めることとしたい。

*河原典史・大原関一浩編『移民の衣食住 I 海を渡って何を食べるのか』（文理閣、2022年）

日時

2022年12月13日（火）
17：00～19：00

報告者

東 聖子（近畿大学国際学部・准教授）
松本ユキ（近畿大学文芸学部・准教授）
桐原 翠（日本学術振興会特別研究員（PD））

モデレータ

守屋友江（南山宗教文化研究所・所長）

プログラム

17：00～17：05 趣旨説明
17：05～18：05 報告
18：05～18：15 コメント、リプライ
18：15～19：00 質疑応答

開催方法

オンライン（Zoom）

参加方法

申込みフォームまたはQRコードから
12月11日までにお申込み下さい。
<https://forms.gle/jErZV9jEZkVoPeGm8>



お問合せ

tmoriya@nanzan-u.ac.jp（守屋友江）

主催 南山宗教文化研究所

名古屋市昭和区山里町18 南山大学内